

令和5年度

一般会計・特別会計予算概要

令和5年2月

函南町長 仁科 喜世志

## I 一般会計予算

令和5年度 函南町の一般会計予算は、歳入歳出総額 12,474,000 千円で、前年度比 784,000 千円、6.7%の増額となりました。

令和5年度は、第六次函南町総合計画後期基本計画がスタートして2年目となります。町の将来都市像である「環境・健康・交流都市函南」の実現に向け、基本理念に定める6つの柱「環境・防災」、「社会基盤」、「健康・福祉」、「教育」、「産業」、「交流・にぎわい」の各分野において行政効果が最大限に発揮できるような予算を編成し、未来につながる実効性の高い施策の展開を図り、「住んでよし」、「訪れてよし」と思えるまちづくりを推進してまいります。

主な施策としましては、次のとおりです。

### 施策の柱：環境【環境・防災】

基本目標 ◎ 快適に安心して暮らせる環境づくり 予算総額 1,601,811 千円

地球温暖化による世界的規模での気候変動による予期せぬ災害やエネルギー問題、地球環境問題を踏まえ、地球温暖化防止対策、省エネルギー化の推進、再生可能エネルギーの活用、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めます。

また、雨水対策の推進、治水機能の整備を図るとともに、防災体制の強化により災害に強いまちづくりに努めます。

さらに、交通安全対策や、消防・救急体制の充実を図り、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

### 脱炭素化戦略及び地球温暖化対策実行計画の策定（予算額 10,299 千円）

2050年を見据えた地域再エネ導入目標策定支援として、中長期的に脱炭素化を図り、持続可能な地域社会を実現し、地域循環共生圏を構築するために、脱炭素化戦略を策定します。それと併せ、地球温暖化対策に向けた取組方針を広く町民や事業者に示すことを目的に、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定します。

### 公共施設のLED化（予算額 8,409 千円）

公共施設の省エネルギー化を推進するため、役場庁舎のLED化設計及び西部コミュニティセンター、函南町体育館事務室等の照明のLED化工事を実施します。

### 再生可能エネルギーの普及及び機器への助成（予算額 3,000 千円）

環境への負荷の少ないエネルギーの利用を促進し、地球温暖化防止対策及び環境負荷の軽減と地球環境保全の意識を高めるため、住宅用太陽光発電システム設置への助成と蓄電池の設置に対する助成を行います。

### 排水機場の整備（予算額 55,906 千円）

落合排水機場及び新田排水機場の停電時における安定的な稼働を実現するため、非常用発電機更新工事に係る町の負担金を支出し、町民の安全・安心に寄与します。

### 蛇ヶ橋ポンプ場の整備（予算額 49,235 千円）

大雨、台風等の水害に備えるため、蛇ヶ橋ポンプ場の非常用発電設備の点検、施設更新を行います。また、計画的な施設整備により施設の延命化及び災害時の浸水対策を図るため、建屋及び土木構造物の耐震診断を行います。

### 災害時の状況把握の強化（予算額 2,919 千円）

災害時における浸水や土砂崩れ等、被災状況の情報収集力強化のためドローンを1台追加購入します。また、ドローンで撮影した映像や、最新の気象情報などを映し出す大型モニターを併せて導入することで、災害時の情報の集約・共有体制の強化を図ります。

### 消防団車両の更新（予算額 31,384 千円）

火災等緊急出動時の消防団活動を円滑に実施する体制を構築するため、老朽化した消防団第3分団のポンプ車両を更新します。

### 消防救急体制の強化（予算額 503,511 千円）

火災、救急業務のほか多様化、複雑化する自然災害等に対応するため、駿東伊豆消防組合へ負担金を支出し、町民の安心・安全な生活を守ります。

## 施策の柱：環境【社会基盤】

### 基本目標 | | | |-------------------|-------------------| | ◎ コンパクトで効率的な都市づくり | 予算総額 1,005,083 千円 | |-------------------|-------------------|

地域公共交通の弱体化が進行しているなか、行政、地域住民、交通事業者が協力し、地域に最適な地域公共交通の実現を目指します。

また、幹線道路や身近な生活道路等の整備、維持補修を行い、町民の安全性と利便性の向上を図ります。

さらに、良好な住環境や都市機能等の実現に向けて、総合的かつ効率的な土地利用の推進に努めます。

### 循環バスの実証運行业務（予算額 46,957 千円）

公共交通空白地域の解消と、伊豆仁田駅の交通結節点としての活用、町の拠点施設への交通手段を確保するため、引き続き町内循環バスの実証運行、評価検証を行い、町の新たな公共交通ネットワークの構築を図ります。

### 公共下水道事業の推進（予算額 359,438 千円）

公共水域の水質保全を推進するため、一般会計から下水道事業特別会計への負担金を支出します。

### 合併処理浄化槽設置の普及促進（予算額 3,110 千円）

快適な生活環境づくりと良好な水環境保全のため、公共下水道事業認可区域外及び田代農業集落排水事業処理区域外の生活排水処理について、合併処理浄化槽への切替を促進します。

### 主要町道等の整備（予算額 113,449 千円）

通勤、通学時の歩行者の安全を確保するため、国庫支出金を活用し、主要町道や狭あい道路の整備、橋梁点検等を行います。

### 生活道路の維持補修（予算額 182,931 千円）

老朽化により路面の劣化が激しい道路や、交通量の多い生活道路の改善を図るため、舗装工事やトンネルの点検業務を行います。

### 道路パトロールの強化（予算額 3,457 千円）

安心・安全な道路を維持するため、町が管理する道路のパトロール業務を委託し、異常個所の早期発見、早期改善を図ります。

### 立地適正化計画の改定（予算額 8,550 千円）

都市再生特別措置法の改正により防災指針の追加が定められたため、立地適正化計画の改定を行い、頻発・激甚化する自然災害への対応を図ります。

### 住宅環境の整備（予算額 17,658 千円）

安全で安心な住環境向上と居住性向上のため、木造住宅等の耐震補強、雨水浸透施設、防災ベッドの設置等に係る費用を補助します。

### 仁田さくら公園複合遊具の更新（予算額 3,485 千円）

経年劣化により使用を禁止している複合遊具の更新を行い、町民の憩いの場、子どもたちの遊び場など、今後も幅広く利用される公園となることを目指します。

## **施策の柱：健康【健康・福祉】**

### **基本目標 ◎ 誰もが活き活きと暮らせる健康づくり 予算総額 3,300,280 千円**

健診・保健指導や健康講座等により、町民のこころとからだの健康の維持・増進に取り組むとともに、安心して子どもを産み育てられるよう、切れ目ない支援を充実します。

また、誰ひとり孤立することがないように、地域住民や多機関と協働し、誰もが安心して暮らすことができる地域共生社会の実現に努めます。

さらに、夜間も含めた救急医療体制の充実を図り、保健・福祉・介護が連携した医療体制の充実に取り組みます。

### 湯〜トピアかなみ空調機器の改修（予算額 51,264 千円）

開館から20年が経過した湯〜トピアかなみについて、今後も快適に安心して利用することができる施設としていくため、老朽化が進んでいる空調機器の改修工事を行い、利用者の満足度の更なる向上を目指します。

### 出産・子育て応援事業（予算額 23,117 千円）

子育て世帯が安心して出産・子育て期を送ることができるよう、妊娠期から出産期・子育てまで一貫した伴走型の相談支援を充実させるとともに、妊娠・出産後に応援金を交付する経済的支援を一体として実施します。

### 3歳児健診における視力検査機器の購入（予算額 1,875 千円）

母子保健対策強化事業として、3歳児健診の視力検査に使用するスポットビジョンスクリーナーを購入し、視力異常等の早期発見・早期受診に向けた体制整備を行います。

### 重層的支援体制整備事業（予算総額 41,589 千円）

#### (1) 包括的相談支援事業（予算額 19,728 千円）

介護、障害、子ども・子育て、生活困窮等、各法に基づく相談支援事業を一体的に行い、対象者の属性を問わず、包括的に相談を受けとめ、支援に繋がります。

#### (2) 地域づくり事業（予算額 9,717 千円）

地域住民が地域社会に参加する機会を創出し、地域生活課題の解決に係る体制整備、地域住民相互の交流の場づくりを支援します。

#### (3) 多機関協働事業（予算額 12,144 千円）

包括的相談支援で受け止めた相談のうち、複雑化・複合化したものを、多機関連携による課題の解きほぐしや地域の困りごとに対するアウトリーチによる支援を拡充し、課題解決に向けた取り組みの推進を行います。

### 救急医療体制の整備促進（予算額 23,634 千円）

夜間・休日でも救急を要する患者の生命を守るため、沼津夜間救急医療協議会、沼津夜間救急医療対策協会、田方救急医療協議会へ負担金を支出し、救急医療体制の確保を図ります。

### 国民健康保険制度の円滑な運営（予算額 253,187 千円）

受診件数の増加や医療の高度化により、被保険者一人当たりの保険給付費が増加するなか、国民健康保険事業の医療費の適正化かつ安定的な運営のため、一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行います。

### 後期高齢者医療制度の円滑な運営（予算額 503,743 千円）

高齢者が安心して医療を受けられるようにするため、一般会計から静岡県後期高齢者医療広域連合へ共通経費の負担金を支出するとともに、後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行います。

### 介護保険事業の円滑な運営（予算額 432,351 千円）

行政と医療機関、事業所が連携した在宅医療・介護連携が図られるよう、介護保険事業の健全な運営に努めるとともに、支援サービスの向上を図るため、一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行います。

## 施策の柱：健康【教育】

基本目標 ◎ 生涯にわたる学びを支える教育・文化づくり 予算総額 3,579,670 千円

少子化や夫婦共働きの傾向が強まるなか、子育て世代の保育ニーズを的確に把握し、安心して子育てができる環境整備に努めます。

また、幼児教育に関わる保育士・教諭の資質向上や施設等の環境整備を推進し、小学校への円滑な就学を支援します。

さらに、GIGAスクール構想で整備したICT環境を活用した学習活動の一層の充実や、学校施設の長寿命化に向けた取り組みを行い、義務教育の充実を図ります。

### 教育・保育施設整備方針の策定（予算額 1,296 千円）

現状の待機児童数と今後の見通しを考慮し、町内の幼稚園、保育園の現状分析と課題整理を行うことで、幼稚園の園児減少に備えた今後の幼稚園運営の在り方や、地域ごとの課題を踏まえた町としての教育・保育施設の整備方針案を検討していきます。

### 幼児教育センターの運営（予算額 5,477 千円）

函南町教育大綱の基本構想に掲げる「幼児教育・子育て支援の充実」を推進するため、幼児教育センターを運営し、質の高い幼児教育の提供、保幼小中の連携を図ります。

### 教育支援センターの運営（予算額 24,221 千円）

複雑化、多様化した児童・生徒の諸問題に対して専門職員を配置し、教育相談の実施、適応指導（チャレンジ）教室の運営、学校支援等の確かな対応を図ります。

### ICTを活用した教育の推進（予算額 13,448 千円）

町内小中学校において、GIGAスクール構想に基づくICT教育を推進するため、ICT支援員の配置や、ネットワーク環境の保守管理を行います。

### 外国語教育の充実（予算額 31,592 千円）

外国語教育の充実を図るため、ALTを小学校4人、中学校2人の体制で取り組みます。

### 西小学校長寿命化改修工事設計業務（予算額 38,000 千円）

建築後43年が経過し、校舎内部や機械設備などに経年劣化が見受けられる西小学校の校舎棟の長寿命化を目的とした改修工事に必要な設計業務を行い、児童への安心・安全な学校生活と良好な学習環境の提供を目指します。

### 文化センター駐車場スロープの設置（予算額 11,256 千円）

文化センターの障害者用駐車場から入口までの間に屋根及びスロープを設置し、障害をお持ちの方が雨の日でも濡れることなく館内に入れるよう、施設のバリアフリー化を図ります。

### 図書館等複合施設の運営（予算額 76,557 千円）

図書館等複合施設「かなみ知恵の和館」を、情報、学習、文化、交流の拠点として有効活用できる場とするため、図書館業務の充実を推進します。

### かなみ仏の里美術館の運営（予算額 17,956 千円）

美術館所蔵の文化財への注目度や関心を高め、町民が町の文化財に誇りと愛着を持てる気風を醸成すると共に、観光施設の拠点としての更なる誘客も促します。

## **施策の柱：交流【産業】**

### **基本目標** ◎ **活力とゆとりを生み出す産業づくり** 予算総額 414,191 千円

町内の豊かな営農環境を保全しつつ、農業の生産性向上、後継者の育成等を図ります。

また、函南ブランドの情報発信を行い、販路拡大の支援を図ります。

さらに、伊豆半島をはじめとした交流圏域や交流人口の拡大を活かし、広域連携による効果的なPRを行い、国内外からの観光誘客を促します。

### 農地の保全、担い手の確保（予算額 13,855 千円）

農業活性化のため、適正な農地保全、農作物の品質向上、環境保全型農業等に対する助成を継続します。また、農業の担い手の育成のため、次世代を担う農業者となることを志す若者に対する支援や、地域の担い手による農業用機械・荒廃農地の再生に対する支援を行います。

### 森林の整備（予算額 14,040 千円）

森林の適正な管理と保水能力向上等のため、森林環境譲与税を活用し、森林整備に必要な林道の補修工事等を行います。また、林道利用者の安全確保のため、林道の橋梁8箇所について、5年に一度の点検を実施します。さらに、荒廃森林の整備を促すため、森林整備を行う者に対し補助金を交付し、治山・治水対策を図ります。

### ふるさと納税の推進（予算額 33,223 千円）

函南ブランドなど町の優れた地域資源を全国にPRするため、ふるさと納税運用代行業務委託等を実施し、地域特産品の情報発信、販路拡大を図ります。

### 畜産振興補助事業の拡充（予算額 4,713 千円）

厳しい酪農経営において安定化を図るため、各種事業に対し補助金を交付します。また、ホルスタイン乳牛の改良増殖の成果を検討し、酪農経営の健全なる発展を図ることを目的に、中部日本ホルスタイン共進会への出品に係る経費の一部を助成します。

### 観光資源のPR（予算額 2,190 千円）

観光キャンペーンや物産展等で使用する町の総合的な観光パンフレットや、公共施設、観光資源等を音声でガイドするシステムを構築し、観光客等の町内周遊を促し、地域産業の活性化を図ります。

### 道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」施設の管理運営（予算額 161,152 千円）

地元農産物のPRや販路拡大、交流人口の拡大のため、交流拠点である道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の運営に民間活力を導入し、各種分野の連携により地域産業の活性化を図ります。

## 川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」施設の管理運営（予算額 9,900 千円）

地域のにぎわいの創出や、地域住民や来訪者との交流、アウトドアスポーツ体験の場の提供のため、水防活動の拠点でもある川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の維持管理を行います。

## **施策の柱：交流【交流・にぎわい】**

基本目標 **◎ 魅力とにぎわいのある交流づくり 予算総額 2,572,965 千円**

今後、一層進展することが予想される情報化社会に対応するため、令和4年12月に策定した「函南町DX推進基本方針」に基づき、デジタル技術の活用により社会や暮らし全体が便利になるよう、変革に向けた取り組みを進めてまいります。

また、町の魅力を広く発信し、定住につながる資源を活用し支援を促進します。

さらに、厳しい財政状況をふまえ、計画的かつ効率的に事業を推進するとともに、民間活力を活かした業務の外部化等、行政運営の適正化を図ります。

## 自治体DXの推進（予算総額 37,362 千円）

「函南町DX推進基本方針」に掲げる施策の実現に向けた取り組みにより、住民サービスの向上や地域コミュニティにおけるDXの推進、情報セキュリティやシステムの強靱化など、効率的・効果的な行政運営の実現を目指します。

- (1) 「行政手続オンライン化」に関連する施策
  - ・口座振替のWeb受付サービス導入 7,785 千円
- (2) 「情報システム標準化・共通化」に関連する施策
  - ・システム移行に係る全体計画の策定 1,561 千円
  - ・システム移行に向けた文字同定業務 2,530 千円
- (3) 「デジタル活用による情報発信」に関連する施策
  - ・ホームページのリニューアル 16,500 千円
  - ・自治会アプリの導入試行運用 2,079 千円
- (4) 「AI・RPA利用推進」に関連する施策
  - ・AI-OCRの導入 626 千円
- (5) 「セキュリティ対策拡充」に関連する施策
  - ・情報セキュリティ監査及びポリシーの改定 5,511 千円
  - ・ホームページセキュリティ対策 770 千円

## 移住・定住の促進（予算額 6,600 千円）

地方の担い手不足を解消するため、静岡県へ就業し、函南町へ移住した方に対する補助金の支給を行い、国・県・町が連携して、定住のサポート体制を構築し、移住・定住の促進を図ります。

## FMみしま・かなみの活用（予算額 7,106 千円）

町の情報、各種イベントを周知するため、地域FMコミュニティ放送を活用し、イベントへの参加促進や情報周知を図ります。

### 都市交流事業（予算額 583 千円）

異文化交流、国際交流を推進するため、アメリカ合衆国カーマン市との交流や、在住外国人との交流を促進します。

### 議場音響等設備の改修（予算額 21,000 千円）

経年劣化により機器の不具合が生じている本会議場の音響、映像設備等を改修することで、円滑な議会運営の実現と、より明瞭な音声と鮮明な映像の提供を図ります。

### 保育園、こども園における給食調理業務の外部化（予算額 42,922 千円）

西部保育園及び二葉こども園における給食調理業務を外部委託し、町職員の栄養士の統括のもと調理業務を行うことで、園児への安心・安全な給食の提供を続けていくとともに、事務の効率化や人材の確保に係る問題の解消につながるよう、行政運営の適正化を図ります。